

# 過敏性腸症候群（IBS）に関する臨床研究にご協力ください

## 過敏性腸症候群（IBS）とは？



腸に明らかな病変がないにも関わらず、長期間にわたって、**腹痛・下痢・便秘**などが続く消化器疾患です

**IBSで下記の症状の方に研究への参加をお願いしています**

- ✓ お腹の調子が悪くなるので、外出するのが怖い
- ✓ 会議や電車など、お腹が原因で日常生活に支障がある



## 研究内容

本研究では、IBSに対して標準的治療に加えて認知行動療法を実施すると効果があるかを検証する研究を行います。

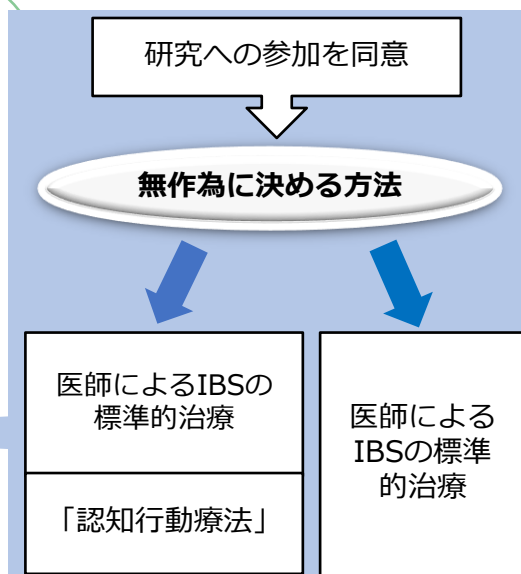
①②のいずれかの治療グループに割り振られます。

- ① **IBSの標準的治療**
- ② **IBSの標準的治療に認知行動療法を加えた治療**

### 【治療方法の決め方について】

この研究に参加することに同意された後、いずれの治療方法かは右図のような

「**ランダム（無作為）に決める方法**」で決められます。わが国では認知行動療法がIBSに効果があるかまだ判明していません。



※**IBSの標準的治療**とは：  
薬物療法と生活習慣の改善アドバイスを中心とする

**過敏性腸症候群に対する臨床研究にご協力いただける方を募集しています。**



## ご参加いただける方



1. これまでIBSの治療を受けた経験があり、かつ現時点においても症状が残っている方(症状が中程度以上の方を対象としています)
2. 年齢が16歳以上の方
3. 本研究の目的、内容を理解していただける方

上記以外にも研究に参加いただくための基準があります

# 研究実施概要

実施場所	国立精神・神経医療研究センター病院 IBS外来
募集期間	2020年3月から2020年10月（第2期締め切り）
協力期間	約4カ月（定期的な通院） ＋ その後、3カ月後に1度アンケートを郵送で お願いさせていただきます。
治療費	「標準的治療」には通常の保険診療費がかかります。 それ以外は、研究参加費として無料です。

## お問合せ先

ご関心・意欲のある方には、研究の詳細をお知らせします。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部

メールアドレス：[ibs.cbt@gmail.com](mailto:ibs.cbt@gmail.com)

「件名：研究案内希望」とした空メールをお送りください。  
ご質問もお受けしております。お気軽にお問合せください。

※Gmailを受信できる環境から、ご返信をお願いいたします。



スクリーニング面接で、参加の基準に当てはまらない場合や定員を超えた場合には、ご参加頂けないことや、治療に入るまで にしばらくお待ち頂くことがございます。あらかじめご了承ください。

✓ 少しでも興味のある方は、どうぞお気軽にお問合せ下さい。

すぐメール  
を送れます



国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部  
〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

研究題名：過敏性腸症候群に対する認知行動療法の無作為化比較試験  
研究代表者：安藤 哲也（行動医学研究部室長） 担当者：河西・船場

